



慈恩

雲林寺報第30号

令和3年1月発行



令和2年12月10日 雲林寺永代供養墓開眼供養式

思いやりとつながり

令和三年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

檀信徒の皆様には平素よりの当山へのご道愛に感謝致しますと共に本年も変わらぬご法愛を賜りますようお願い申し上げます。

未だに終息の兆しが見えないコロナ禍にあって、感染防止のための外出自粛やマスク着用、ソーシャルディスタンスの徹底、リモートワーク、リモート授業等、日常生活の過ごし方が大きく変化致しました。

「毎年、実家へ帰省していたけど、このお正月は帰らない」という人も多いのではないのでしょうか。

感染防止対策を優先しながら迎える新年はご挨拶の仕方今までは違うものになりそうです。

同時にコロナ禍が「相手への思いやり」「人とのつながり」の真の大切さに目を向けるきっかけとなった人も少なくないように思われます。

「人への思いやり」や「人とのつながり」は私達が生活していく上で欠かせないものと頭ではわかっていても、自己中心的な人々を世の中が作り出してきている現状は否めません。

誰もが苦難を強いられているコロナ禍で、ひとりひとりが「人への思いやり」「人とのつながり」を冷静に深く参究することも、今だからこそ求められている大切な報恩の行ではないでしょうか。

住職就任から約一年ほど経ちましたが改めて多くの人からの支えによって生かされている事を本年も胸に刻み弁道精進して参ります。

末筆乍 檀信徒皆様のご安寧と福寿無量を心よりご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

任職 轟 省吾

護持会だより

本年も宜しくお願い致します。

世話人の交代がありましたことをご報告いたします。羽根尾地区の世話人を務めて頂きました黒岩進様が昨年未で退任され、後任に黒岩清次様に務めて頂くこととなりました。黒岩様には長きに渡り、ご尽力賜り感謝申し上げます。

(総代)

(世話人)

大津

羽根尾 与喜屋 横壁 林 川原湯畑 北軽井沢

- 田村 守
- 櫻井芳樹
- 山口次夫
- 永井芳司
- 櫻井輝久
- 長谷川誠
- 黒岩 元
- 宮崎 透
- 萩原宗仁
- 佐藤良平
- 山崎敷男
- 割田伸男
- 宮崎雅夫
- 唐沢明雄
- 市村真
- 小林喜一郎
- 塩野英介
- 湯本茂
- 吉澤功
- 橋爪満男
- 黒岩清次
- 萩原富夫
- 金子茂雄
- 篠原憲一
- 小林柳一
- 豊田清
- 青木博文
- 岩田紀重
- 神戸久利
- 小林一雄
- 清水忠雄
- 宮田満
- 宮澤昭次
- 斎藤光善

昨年十二月に総代会が開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、二月二日の新年祈禱会は内献にて行う事になりました。また、毎年一月四日より年頭のご挨拶に檀家様各家へ伺わせて頂いておりますが、本年は、担当の世話人様が御札等をお届け致しますので、ご承知の程お願い申し上げます。

更には、二月三日の節分会に關しては、祈禱のみ行い、本堂内での豆まき会は中止となりましたのでご報告致します。

また、三月以降の行事に關しては直接お寺にお問い合わせ下さい。何とぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

〔開催未定の行事〕

- 四月三日 大般若会
- 六月中旬 護持会総会
- 八月十四日 大施食会
- 十月中旬 親睦ゴルフコンパ



主な催しのご報告（令和二年）

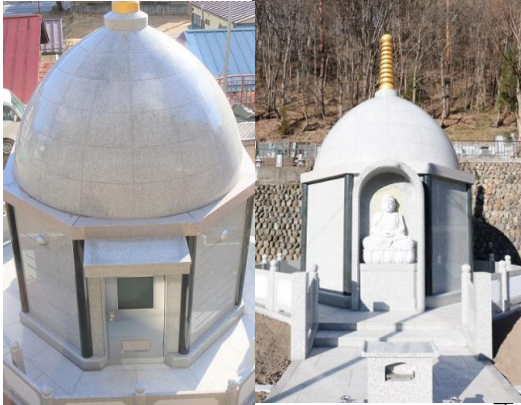


①八月十四日は大施食会
 ②八月十四日は大施食会
 コロナ禍の中、判断の難し
 いものでしたが、多くの皆
 様が御来山下さり、無事
 円成いたしました。堂内に
 入れる人数が限られてい
 中、外でお待ち頂いた皆様
 方には大変ご迷惑をおかけ
 致しました。
 ③九月二十二日は長野原町
 横壁の勢至菩薩、観世音菩
 薩供養祭でした。一六八四
 （貞亨元年）に建立され、
 ダム建設に伴い平成二十三
 年に現在地に新設されまし
 た。
 ④九月二十七日、長野原町
 北軽井沢大屋原地区にて群
 馬県満蒙拓魂之塔奉賛会、
 群馬県拓友協会主催による
 拓魂祭がございました。
 群馬から満州へ開拓民とし
 て送られた、犠牲になった方
 や開拓に従事した物故者を
 祀ります。昭和四十九年よ
 りはじまり、今年で四十七
 回目、合祀者は合計三三二
 八霊になります。毎年、式
 典の終わりに「満州開拓
 の歌」が有志の方々により
 歌われます。
 ⑤十月五日境内で長野原町
 戦没者追悼式を執り行いま
 した。境内にある忠霊塔は
 第二次世界大戦の長野原町
 の戦没者の霊を顕彰してい
 ます。
 ⑥十一月十八日、長野原区
 第一常会で毎年行われてい
 る、白馬観音供養祭が執り
 行われました。その昔、こ
 の地域では馬を飼っている
 家庭が多く、その馬を供養

雲林寺永代供養墓 ついに完成！



190mm×50mmのステンレスプレートを芳 納骨堂内には骨壺が約120
 名版に貼ります。塔婆建てもごさいます。置ける棚がごさいます。



正面真後ろに納骨堂
 扉があり、両隣が芳名
 版になります。
 釈迦如来仏像が鎮座す
 墓苑の守り本尊として
 お祀りされています。

私たちの生命の流れは、遠い先祖様
 から脈々と引き継ぎ、そして来世に引き
 継がれていきます。かけがえのない生命
 の流れを大切にすることが、ご先祖様の
 供養なのです。
 お墓は、「家」を単位として、代々受
 け継がれることを前提にしています。
 しかし現代では、家族形態の変化により
 お墓を継承していくことが難しくなっ
 てきている様です。ご子息が遠いところ
 に住んでいてお墓の面倒を見るのが大
 変だったり、生涯独り身ですごされた方
 にとっては、お墓は、「欲しいけれども
 持つのが難しい」ものとなりつつありま
 す。
 当山では、永代供養墓のご相談を頂く
 件数が年々増え、昨年八月より工事を着
 工し十二月に完成致しました。春、秋の
 彼岸法要、盂蘭盆会法要を行ない、仏様
 の安息を願ってお祈り致します。
 建立に際しご尽力頂きました宮川技
 建工業様並びに遊設計様、そして野口工
 務店様には丁寧な作業して頂き誠にあ
 りがとうございました。
 既に当山にお骨をお預かりしている
 方はもちろんのこと、今後永代供養墓を
 検討されている方は是非いつでもお気軽
 にご相談下さい。ご案内させて頂きま
 す。



大節分会

二月三日は節分会です。今年は新型コロナウィルス感染拡大の状況を鑑み、厄払いの祈禱法要のみとし、豆まき会は中止とさせて頂きます。

「節分講」は例年通り申し込みを受け付けます。「福豆」「寿菓」「お札」をお配り致します。

一般祈禱 二千円

日本人は長い歴史の中で、疫病（感染症）に何度も苦しめられ、見えない敵と闘ってきました。その名残が節分の豆まきで、室町時代から続いているといわれています。

現在の疫病「新型コロナウイルス」。「鬼は外、福は内」の豆まきで厄払い、「新型コロナウイルス」を退散し終息を願いたいものです。

皆様の無病息災を願い、ご祈禱させて頂きます。

2月3(水)午後2時

お申し込みは世話人さん、又は直接お寺にお申し込み下さい。
 祈禱を申し込まれた方は恐れ入りますが、当日マスク着用でおでかけ下さい。

令和3年(2021)厄年早見表

	前厄	本厄	後厄
女19歳の厄	17歳(2004生)	18歳(2003生)	19歳(2002生)
男25歳の厄	23歳(1998生)	24歳(1997生)	25歳(1996生)
女33歳の厄	31歳(1990生)	32歳(1989生)	33歳(1988生)
女37歳の厄		36歳(1985生)	
男42歳の厄	40歳(1981生)	41歳(1980生)	42歳(1979生)
男女61歳の厄	59歳(1962生)	60歳(1961生)	61歳(1960生)
幼児4歳の厄	2歳(2019生)	3歳(2018生)	4歳(2017生)

「鬼滅の刃」から学ぶ仏教

「鬼滅の刃」が日本人の心を揺さぶり、歴史的ヒットを続けています。舞台は大正時代、鬼に家族を殺された少年「炭次郎」が、鬼となつた妹を人間に戻すために「鬼殺隊」の一員として、さまざまな鬼と死闘を繰り広げていく…といった内容です。

人間である鬼殺隊側は容赦なく死んでしまします。しかし、敵である鬼は蘇生し、回復します。鬼全体のボスである「鬼舞辻無惨（きぶつじむざん）」は不変不滅の存在で千年以上生き続けています。仏教では永遠不変に固執することを「我執」と呼びます。不老不死の体を誇り、永遠の生を求め「鬼舞辻無惨」は、まさに「我執」にとらわれている「煩惱」のかたまりとして描かれております。病氣や死(四苦)そのものが本当の苦しみではなく、避けようのない死を逃れようとする不可能な考えに執着する心こそが苦しみを生む源である、とお釈迦様は説かれました。

私達は、誰一人例外なく死にゆく存在です。死にゆく…変化する存在だからこそ(諸行無常)、限りある命だからこそ、かけがえない二度と無い人生として、有り難く感じる事ができます。年齢を重ねて見た目は醜くなっても、懸命に強く生きた人の生き様そのものは美しく感動するものとなります。そしていよいよ死を迎える時、その人間としての役目を懸命に果たしたからこそ、死が終わりではなく、死という通過点を乗り越えて、次は仏様の世界に行き生まれたい…往生したいと願います。

「鬼滅の刃」に登場する鬼はすべて元々私達と同じ人間だったという設定で、欲望や苦しみか限りなく膨れ上がった時に悪い縁に会い、鬼となり人間に危害を加えます。しかし主人公「炭次郎」は鬼もかつては人だったことに思いを遣り、哀れみます。鬼は、自分の悲しみを「炭治郎」が知ってくれたことで、心救われて消えていきます。鬼の心に寄り添おうとする、善悪や正邪を超越した「慈悲」の心を持つ主人公の魅力がより一層「鬼滅の刃」を惹きつけているのかも知れません。



梅花流たより

コロナ禍により秋の県大会及び全ての梅花講習会、研修会等が無くなりました。

令和三年五月に長野市真島総合スポーツアリーナ「ホワイティング」を会場に企画されていきました全国大会の申し込みを・・・と思っていた矢先、伝道部詠道課より通達があり、開催の中止が決定したということでした。今年の全国大会は隣にある県というところを講師の皆さんが楽しみにしていたのですが、致し方ありません。



令和2年10月5日忠霊塔慰霊供養

一日も早い新型コロナウイルスの終息を講員さんと共に祈り申し上げます。 轟 美代子

七人の名医

この自然界には七人の名医がおいでになります。

第一は「日光」です。あなたは一日どれだけ日光に当たっていますか？

第二は「空気」です。一分でも空気がなくなると大変なことになります。

第三は「水」です。動物は真水のミネラルウォーターしか飲みません。

第四は「食物」です。世の中がどれほど進化しても自然から生まれた食物こそ健康に一番です。ガン「癌」という字は品の山で病気になることを示しています。

第五は「運動」です。老いは足からといますが、植物は根が腐ると枯れ、動物は足の弱いものから他の動物のエサになる自然のおきてがあります。

第六は「休息」です。外国の人が言っていました。「日本人はイネムリが多い。夜眠っていないのですか？」

第七は「心の力」です。病は気から、私たちに必要なのは物の豊かさではなく心の豊かさです。自然の名医は私達に無限の力を与えて下さっているのです。

「人間よ、名医の皆さんをもっと大切にしないか！」

と警告するためにやって来たのが、新型コロナウイルスやインフルエンザウィルスかもしれません。

二〇二一年年回正当のお知らせ

年回例③は三回忌になります。御名前は施主様になり
ます。八月十四日の施食会のご案内を施主様に通知させ
て頂きます。年回に当たられていない施主様もご連絡頂
ければ先祖代々等の塔婆をご用意します。

〔長野原地区〕

- 櫻井芳樹様 ③ 長谷川誠様 ⑦ 山口次夫様 ②③ 佐藤
- 良平様 ③ 伊藤敏英様 ⑦ 加部美次様 ⑦ 黒岩加部夫様
- 一様 ③ 恒夫様 ③ 小池孝夫様 ③ 小池正之様 ① 櫻井祐喜様
- 江様 ③ 酒井正躬様 ⑦ 佐藤しずえ様 ③ 佐藤照夫様 ⑦ 水
- ③ 黒岩良一様 ③ 小池孝夫様 ③ 小池正之様 ① 櫻井祐喜様
- 直様 ③ 酒井正躬様 ⑦ 佐藤しずえ様 ③ 佐藤照夫様 ⑦ 水
- ③ 佐藤昭久様 ⑦ 佐藤花吉様 ③ 佐藤正美様 ③ 藤原浩
- 藤はぎ江様 ⑦ 佐藤みさ子様 ① 芝田尚登様 ⑦ 清水武男様
- 次様 ⑦ 篠原みさ子様 ① 芝田尚登様 ⑦ 清水武男様
- ③ 霜田恵太郎様 ⑦ 霜田芳之様 ③ 高良江様 ③ 武男様
- ③ 沢正和様 ③ 竹淵立三様 ③ 芳之様 ③ 高良江様 ③ 武男様
- ⑦ 長澤七ツ子様 ③ 立三様 ③ 芳之様 ③ 高良江様 ③ 武男様
- ⑦ 彦宏様 ③ 宮川康弘様 ③ 宮川美次様 ⑦ 宮川益増様
- ③ 彦美様 ③ 宮崎雅夫様 ③ 宮崎茂剛様 ① 宮崎智和様 ③ 木
- ① 山守利様 ① 和寿様 ③ 宮崎茂剛様 ① 宮崎智和様 ③ 木
- ⑦ 好治様 ⑦ 依田たつ子様 ⑦ 喜渡辺吉崎徳蔵様 ③ 和田

〔大津地区〕

- 塚富美様 ⑦ 荒木もとゝ様 ③ 河合秀興様 ③ 神田大
- 田村守様 ⑦ 唐澤健志様 ③ 河合秀興様 ③ 神田大
- 富美様 ⑦ 唐澤健志様 ③ 河合秀興様 ③ 神田大
- 松林様 ⑦ 黒岩孝一様 ① 黒岩三夫様 ⑦ 黒岩今朝
- ⑦ 林弘様 ⑦ 小民様 ⑦ 嶋村久夫様 ⑦ 嶋村真琴
- ⑦ 清水猛様 ③ 竹内はな代様 ③ 富澤育夫様 ③ 嶋村真琴
- ⑦ 澤富美様 ③ 丸うか様 ③ 野成澤篤史様 ③ 嶋村真琴
- ⑦ 男松本様 ① ゆ丸様 ③ 野成澤篤史様 ③ 嶋村真琴
- ⑦ 志松本様 ① ゆ丸様 ③ 野成澤篤史様 ③ 嶋村真琴
- ⑦ 哲志湯本様 ① 丸山登様 ③ 野成澤篤史様 ③ 嶋村真琴
- ⑦ 善太郎様 ③ 湯本誠様 ③ 吉澤良夫様 ① 湯本泉様 ① 湯本

〔林地区〕

- 足立恒雄様 ③ 市村勝美様 ⑦ 市村敬司様 ⑦ 浦野
- 朗様 ③ 唐澤順子様 ① 篠原美好様 ③ 篠原修様 ③ 林寛様
- ① 小林柳一様 ① 篠原隼一様 ③ 篠原かつ江様 ③ 篠原か
- 和子様 ① 篠原隼一様 ③ 篠原かつ江様 ③ 篠原か
- よ子様 ① 篠原隼一様 ③ 篠原かつ江様 ③ 篠原か
- 信夫様 ① 篠原隼一様 ③ 篠原かつ江様 ③ 篠原か
- 長橋一茂様 ① 原延行様 ⑦ 竹淵ちよ四郎様 ③ 守篠原茂
- 木好雄様 ②③ 星河由紀子様 ③ 星河良一様 ③ 守篠原茂

〔北軽井沢地区〕

- 青木篤様 ⑦ 浅見秀子様 ③ 新井登様 ③ 飯島恒一
- ③ 池上義雄様 ③ 大谷隆川様 ⑦ 大森一年様 ③ 萩野和男
- ⑦ 田紀重様 ③ 小川忠彦様 ③ 下田和希様 ③ 関根重
- ⑦ 上谷川一様 ③ 小川忠彦様 ③ 下田和希様 ③ 関根重
- ⑦ 哲夫様 ③ 宮田満星様 ③ 八木原栄山様 ③ 増田
- ⑦ 吉田昇様 ③ 黒岩栄様 ① 木原栄山様 ③ 増田
- ⑦ 黒岩元様 ③ 石田次雄様 ③ 一場茂樹様 ⑦ 片桐
- ⑦ 健造様 ③ 唐沢幸誠様 ③ 唐沢雄清様 ③ 唐沢正
- ⑦ 美様 ③ 黒岩進様 ⑦ 黒岩誠司様 ③ 黒岩清次様
- ⑦ 守夫様 ③ 高橋慎一様 ③ 榎口憲治様 ③ 高橋慎一様
- ⑦ 山口幹雄様 ③ 榎口憲治様 ③ 高橋慎一様 ③ 高橋慎一様
- ⑦ 孝子様 ③ 篠原恵三様 ③ 篠原憲太郎様 ③ 長井仲
- ⑦ 丸橋正太様 ① 湯本努様 ③ 湯本和明様 ③ 富夫様 ③ 仲
- ⑦ 萩原宗仁様 ⑦ 萩原國男様 ③ 金子一夫様 ③
- ⑦ 金子幸弥様 ① 萩原國男様 ③ 金子一夫様 ③
- ⑦ 清水英一様 ③ 富澤吉太郎様 ⑦ 豊田清様 ⑦ 野口
- ⑦ 廣邦様 ③ 野口美恵子様 ⑦ 豊田清様 ⑦ 野口
- ⑦ 〔吾妻郡内〕
- ⑦ 佐藤進様 ⑦ 木村良博様 ⑦ 小林貴様 ⑦ 干川政
- ⑦ 彦様 ⑦ 湯本美恵子様 ③ 小室今朝様 ⑦ 黒岩佳寺
- ⑦ 子様 ⑦ 湯本美恵子様 ③ 小室今朝様 ⑦ 黒岩佳寺
- ⑦ 島正明様 ③ 野口孝弘様 ③ 吉田悠一様 ③ 黒岩佳寺
- ⑦ 子様 ③ 野口孝弘様 ③ 吉田悠一様 ③ 黒岩佳寺
- ⑦ 湯根キク江様 ③ 仲野正登様 ③ 野口幸浩様 ③ 雄
- ⑦ 〔群馬県内〕
- ⑦ 篠原瑞陽様 ① 関口幸治様 ③ 野口弦三様 ③ 浅
- ⑦ 見忍様 ③ 池谷幸子様 ③ 唐澤満寿男様 ③ 齊藤明
- ⑦ 吉仲様 ③ 原正昭様 ③ 加中保忠様 ⑦ 服部義則様 ① 明

〔与喜屋地区〕

- ⑦ 片所博明様 ③ 唐澤博様 ⑦ 小林喜久男様 ③ 佐藤
- ⑦ 孝子様 ③ 篠原恵三様 ③ 篠原憲太郎様 ③ 長井仲
- ⑦ 丸橋正太様 ① 湯本努様 ③ 湯本和明様 ③ 富夫様 ③ 仲
- ⑦ 萩原宗仁様 ⑦ 萩原國男様 ③ 金子一夫様 ③
- ⑦ 金子幸弥様 ① 萩原國男様 ③ 金子一夫様 ③
- ⑦ 清水英一様 ③ 富澤吉太郎様 ⑦ 豊田清様 ⑦ 野口
- ⑦ 廣邦様 ③ 野口美恵子様 ⑦ 豊田清様 ⑦ 野口
- ⑦ 〔吾妻郡内〕
- ⑦ 佐藤進様 ⑦ 木村良博様 ⑦ 小林貴様 ⑦ 干川政
- ⑦ 彦様 ⑦ 湯本美恵子様 ③ 小室今朝様 ⑦ 黒岩佳寺
- ⑦ 子様 ⑦ 湯本美恵子様 ③ 小室今朝様 ⑦ 黒岩佳寺
- ⑦ 島正明様 ③ 野口孝弘様 ③ 吉田悠一様 ③ 黒岩佳寺
- ⑦ 子様 ③ 野口孝弘様 ③ 吉田悠一様 ③ 黒岩佳寺
- ⑦ 湯根キク江様 ③ 仲野正登様 ③ 野口幸浩様 ③ 雄
- ⑦ 〔群馬県内〕
- ⑦ 篠原瑞陽様 ① 関口幸治様 ③ 野口弦三様 ③ 浅
- ⑦ 見忍様 ③ 池谷幸子様 ③ 唐澤満寿男様 ③ 齊藤明
- ⑦ 吉仲様 ③ 原正昭様 ③ 加中保忠様 ⑦ 服部義則様 ① 明

年回早見表

一周忌	令和 2年(2020)
3回忌	令和 元年(2019)
7回忌	平成27年(2009)
13回忌	平成21年(2007)
17回忌	平成17年(2005)
23回忌	平成11年(1995)
27回忌	平成 7年(1995)
33回忌	平成 元年(1989)



編集後記

昨年もお亡くなりになられた多くの檀信徒の方々をおくって参りました。そして、昨年より葬儀式、告別式の在り方が様変わりしました。新型コロナウイルスが感染予防を避けるため、葬儀式、告別式で親族以外は席に着かず、参列された方より順次お焼香をしてお帰りになるといったものです。

賛否ありますが、告別式が無くなり、喪主様をはじめ、遺族親族が葬儀式に集中できる型になつたように思われます。

故人にとって又は遺族にとつてどんな型が最適なのか、模索する時期なのかと、私も僧侶も考えさせられると同時に深く参究して参りたいと思ひます。

大意省吾

お名前の誤字脱字、年回施主様に落ちがありましたらご了承願ひます。

- 篠原忠夫様 ① 嶋村均様 ③ 富澤康一様 ③ 戸塚
- ① 野口宗様 ⑦ 野口みつ様 ⑦ 加島明様 ③ ③
- ⑦ 〔群馬県外〕
- ⑦ 北島一浩様 ⑦ 高橋甚一様 ③ 山本正幸様
- ⑦ 櫻井和彦様 ③ 市村和久様 ③ 市村菊男様 ⑦
- ⑦ 小林忠男様 ⑦ 嶋村正勝様 ⑦ 野口正人様 ③ 萩
- ⑦ 原勉様 ① 宮崎千鶴様 ⑦ 中野彰様 ⑦ 藤江雅子
- ⑦ 一様 ③ 芝田三郎様 ③ 森本拓也様 ③ 市村登江様 ⑦
- ⑦ 市村康弘様 ① 影山直久様 ③ 唐澤幸江様 ① 篠